

## 生徒の皆さんへⅡ

校長 黒田 宏一

「今、私たち人間の目の前にいる相手はとても賢いぞ。」というのが実感です。

- ①感染しても2週間程はじっと静かにしています。
- ②出てくる症状は風邪の初期症状ですが、軽く感じさせるように振る舞います。
- ③発熱しても、一旦解熱させ安心させます。
- ④最近分かってきたことですが、症状の出たときに拡散するというだけではなく、その2日くらい前から一気に拡散させてしまうようです。

「人間に気付かれぬように、静かに、静かに体内で増殖し、一時的に改善したように見せかけ、人と人の接触をさせようとする。そして拡散するときは一気に爆発させる。それも警戒させないように症状の出ているときから。」

何ともすごいシステムを持っているウイルスです。

対する人間はどうでしょうか。まだ、国内では治療薬は確立していません。だから、対抗できる方法として、その特性から

- ①うがい・手洗いをしっかり行う。
  - ②「自分が感染者かもしれない」との認識に立ちマスクを着用する（飛沫の飛散を防ぐ）。
  - ③人との接触をできる限り削減するため、不要不急の外出は自粛する（「最低7割、目標8割」と言われています）。
  - ④人と接触しなければならないときは、2mの間隔を空ける（「ソーシャル・ディスタンス」と言えます）。
  - ⑤3つの密（密閉・密集・密室）を作らない。その空間に行かない等避ける。
- 等を取り組んでいます。簡単なようですが本当はとても大変なことです。それはそれぞれの立場で皆が感じていることだと思います。そしてこれからも「頑張れ、自分たち！」です。

ところで、様々な地域で休業自粛等の中、「一番の最前線で頑張っている医療従事者の方に元気を」と食事・弁当を提供される行動が耳に入りました。また、休業中のホテルの部屋からいくつもの室内灯がともされ「キボウ」の文字を浮かび上がらせてくださった映像にも触れました。これが直接的にウイルスを押さえ込むということではないですが、「どんなに大変でも一人でも多くの方が前を向いて進み続けるための力になってほしい。」との思いは繋がっていることと思います。私たち人間には、様々な課題に立ち向かい解決するための知識を蓄積し、知恵をたくさん有しています。きっと治療薬も人間の手元にくるでしょう。そして、人間同士の心の繋がりを大切にする優しさや勇気ももっています。だから「この大きな壁を乗り越えることができる。」と信じ、小さいけれども少しでもその力となれる自分でありたいと思います。

いつか近い時期に皆さんも学校での生活をスタートする時がやってきますが、まだまだ気遣いや配慮などが必要です。その時には知識と知恵で、また優しさや周囲への思いやりで満たしながら生活していきましょう。賢いウイルスに負けないように。

